

国語研にて
2018年12月22日

方言研究から歴史研究を、 歴史研究から方言解明へ

ローレンス・ウエイン
(オーケランド大学)

- ① A接ハB-Bスル という文型について
- ② 動詞の希求形
- ③ エスキモー語Sanikiluaq方言の双数

- ① A接ハB-Bスル という文型について
- 八重山鳩間方言
- nangee toori-toori seeti
「投げてはたぐり」(加治工 1990: 57)
- sukasi kee sukai-sukai sii
「お連れして来ては使い」(加治工 1973: 102)
- tureeti kaasee sii-sii butan-nu
「取っては売つてしていたが」(加治工 1973: 70)

A接ハB-Bスル

沖縄中南部首里方言

taccee 'ii'ii ssi, macikantii SOON

「立っては座り、立っては座り、まちかねている。」

sutumiti-kara attabui ssi, hutee hari-hari sooibiitan

「朝からスクールで、降っては止み、降っては止み
していました。」

?uma ?izi jukutee sii-sii...

「そこに行っては休み、...」(伊芸 1992: 232)

A接ハB-Bスル

八重山与那国方言

nmaink'it'i-ja si-si-du isi-but'a-ga...

「繋いでは来ていたが」(日本放送協会1972: 343)

奄美大島大和浜方言

?uri-ba sjuu-nan ciikit'h-jaa, jaa-nu naha-ba hare-hare, gasi sjoot'i,...

「それを潮水につけては、家の中を祓い、そうしまして、...」(琉球列島班 1993: 179)

「A接ハB-Bスル」構文の早い例

三月つこもりかたにかりのこのみゆるをこれをと
をつゝかさぬるわさをいかてせんとてゝまさくり
にすゝしのいとをなかうむすひてひとつむすひ
てハゆひゆひしてひきたてたれへいとようかさ
なりたり

『かげろふ日記』卷一 四十四丁表

現代日本語における「A接ハB-Bスル」構文

- 泉鏡花『薬草取』(1903)
それから私は私が其の娘に出来た門出だつた誕生日に、鈴見の橋の上まで来ては、此方を拜んで歸りへしたですが、
- 泉鏡花『葦の舞姫』(1918)
時々、のほん、と立停つては俺が方をふり向いて見い見いするだ。
- 田中木叉『日本の光 (弁栄上人伝)』(1936: 182)
上人はいつもの通り、米粒を左の手のひらにのせて、同じ左の親指と人さし指で掌の粒をとつては書き書きしておられる。

現代日本語における「A接ハB-Bスル」構文

- 立川談志ひとり会 (1999年10月12日)

「投手は広島(カープ)の長谷川良平、これで決まり」、沢村も金田も米田も村山もない。捕手から球が返ってくりやキャッチボールの如く、すぐ投げる。千切っては投げ投げ、そのシュートボールの切れのよさ、何せ長谷川とタイガースの渡辺昭三が投げ合うと試合は一時間チョイで終わつたことがある。

「A接ハB-Bスル」構文の発生過程?

- Ⓐ <食べる₁> -<寝る₁> -<食べる₂> -<寝る₂> ... [実世界での動作]
 食べる 寝る 食べる 寝る [動詞]
 A / \ B A / \ B [構文]
- Ⓑ <食べる₁> -<寝る₁> -<食べる₂> -<寝る₂> ... [実世界での動作]
 食べる 寝る 食べる [動詞]
 A / \ B / B / \ A [構文]
- Ⓒ <食べる₁> -<寝る₁> -<食べる₂> -<寝る₂> ... [実世界での動作]
 食べる 寝る [動詞]
 A / \ B / B [構文]

A接ハB-Bスル という文型について

現代共通語にないこのABB構文が琉球の諸方言にあることから、この構文は琉球祖語まで遡るといえよう。最近まで日本語にもあったといふことで、日琉祖語まで遡る構文であろうか、それとも、並行発達の一例であろうか。

アジアのSOV言語のサンプルでは、ABABやABBAが普通にあり、AABもみられる(トルコ語とタミル語)が、ABBは管見に入っていない。

(2) 動詞の希求形

沖縄県八重山群島鳩間島方言

pari-pus-aN「行きたい」 ffa-i-pus-aN「食べたい」
numi-pus-aN「飲みたい」 pooki-pus-aN「掃きたい」

sibaru si-cca-aN「小便したい」
ssu mari-cca-aN「大便したい」
paki-cca-aN「吐きたい」
pana pusi-cca-aN「嚏したい」

沖縄県沖縄本島大宜味村津波方言

?iki-ba-han「(名護に) 行きたい」
sii-ba-han「したい」
misi-ba-han「見せたい」

?iki-cja-han「(トイレに) 行きたい」
suubee sii-cja-han「小便したい」
ninbi-cja-han「眠りたい」

痛い > 甚だ > ~~希望~~
 V
 痛烈な感じ
 V
 生理的必要性
 V
 (生理・感情的)必要性
 V
 希望

動詞の希求形

ある方言に -タイ系希求形と -ホシ系希求形の両方が存在する場合、その使い分けを究明する必要があるのはいうまでもないが、琉球祖語に遡らないこの使い分けは北琉球と南琉球の複数の方言に見出せる。この事実も説明を要する。

③ エスキモー語Sanikiluaq方言の双数



エスキモー語Sanikiluaq方言の双数

South Qikiqtaaluk方言 (www.tusaalanga.ca/lesson/2364/grammar)

单数	双数	複数
ilisaiji 先生	ilisaijiik	ilisaijijit
inuk 人	inuuk	inuit
uqaalaut 電話	uqaalautiik	uqaalautiit
uqaalautiralaaq 携帯	uqaalautiralaak	uqaalautiralaat
nunannguaq 地図	nunannguak	nunannguat

Sanikiluaq方言

ilisaiji 先生	ilisaijiik	ilisaijijit
inuk 人	inuuk	inuit
ilisaq 学生	ilisaak	ilisaat
umiaq 舟	umiat	qimmitjuat
qimmitjuaq 馬	qimmitjuat	sanikiluarmiuq サニキルアック人
sanikiluarmiuq		sanikiluarmiut

エスキモー語Sanikiluaq方言の双数

双数がある言語から消えるのは珍しくない(例えばスラブ諸語、ヘブライ語、グリーンランド語等々)が、音節構造が関わり合うのは意外である。

この音節構造がなぜ双数の有無と関わるようになっているだろうか。
